

## ●登壇者紹介●

楠 凡之 (くすのき ひろゆき)

北九州市立大学文学部人間関係学科教授。専門は臨床教育学。当ネットワークの代表であり、日本学童保育学会理事などを務める。

著書に「虐待・いじめ 悲しみから希望へ」、「自閉症スペクトラム障害の子どもへの発達援助と学級づくり」など。

## ●北九州子育て支援と子ども文化ネットワークの紹介●

**設立趣旨：**幅広い分野の個人や団体が交流・協力しあう中で、「子育て支援」のネットワークづくりと、子どもたちの豊かな生活圏実現にむけての課題を考え、取り組みをすすめる。

**代表：**楠 凡之      **発足：**1996年10月

### ～これまでのムーブフェスタ市民企画事業参加テーマ～

- 1998年 「市民と行政でつくる子育てネットワーク」
- 1999年 「市民と行政でつくる子育てネットワーク」市民福祉センター編
- 2000年 「『対立』からまなぼう」=親子関係とジェンダー
- 2001年 「子育てでつながる地域づくり」
- 2002年 「学童期の子育て支援を考える」
- 2003年 「響きあう声から始まる地域づくり」
- 2004年 「子育て支援の三層構造が機能するために今求められているもの」  
～市民福祉センターに視点をあてて～
- 2005年 「どうする？北九州版子育て支援のソーシャルワーク」
- 2006年 「子育て支援“C難度”の連携システムを展望する」
- 2007年 「どうする？北九州の子育てひろば」
- 2008年 「『気になる子ども』と保護者の居場所づくり」
- 2009年 「『気になる子ども』と保護者の居場所づくり PART II」
- 2010年 「保護者の思いによりそう支援」
- 2011年 「すべての親子が支援に出会うシステムづくり」
- 2012年 「子育て支援・はじめの“いっぽ”」
- 2013年 「発達障がいを持つ子どもと保護者への支援」
- 2014年 「発達障がいを持つ子どもと保護者への支援 part2」
- 2015年 「子どもの発達を保障する遊び・生活づくり」
- 2016年 「子どもたちが自己肯定感を育める生活世界を  
－『いじめ・暴力を許さない社会』から『いじめ・暴力の必要がない社会』へ」
- 2017年 「“奪わないで”子どもが子どもである時間」